

団地再生や地域活性化に向けて 横浜市立大学と横浜市住宅供給公社が連携協定締結

横浜市立大学（以下、「YCU」）と横浜市住宅供給公社（以下、「公社」）は、金沢シーサイドタウンを中心とした金沢区内の地域課題解決に向けた連携を強化し、横浜市全域で両者協働による取組を展開するため、平成 29 年 2 月 3 日（金）に「地域の活性化等の推進に係る連携協定」を締結しました。

YCU は、平成 26 年 3 月から公社が所有する空き店舗を活用して、大学サテライト拠点「UDCN 並木ラボ（金沢区並木 1 丁目 17）」を設置し、地域住民組織と連携しながら、超高齢化や都市空間のストック再生等の課題解決に取り組んでいます。

また公社は、平成 28 年に設立 50 周年を迎え、「暮らし再生プロジェクト」を通じて、団地やマンションの建物の再生だけでなく、地域コミュニティの活性化を考え、「まち全体」の再生に取り組んでいます。

この度の連携協定締結により、YCU まちづくりコース等の学術的な知見と公社の技術や能力を相互に連携・協力することで、地域資源を活用し、「マネジメントするまちづくり」の実現に取り組めます。



協定式での横浜市住宅供給公社理事長浜野四郎（左）と横浜市立大学理事長二見良之（右）

お問い合わせ先			
公立大学法人横浜市立大学	研究基盤課長	竹内 紀充	Tel 045-787-2019
横浜市住宅供給公社	街づくり事業課事業推進担当課長	太田 祐輔	Tel 045-451-7821

（裏面あり）

<参考> 横浜市立大学と横浜市住宅供給公社との連携

■ UDCN 並木ラボ (UDCN: Urban Design Center Namiki)

「UDCN 並木ラボ※」は、公社の所有する商業施設の空き店舗を利用した「誰もが住みたい・住み続けたいまちとして魅力を高め、これからの時代に備える」ための地域拠点です。

<具体的な活動>

●コミュニティの活性化

地域へのオープンスペースの提供（談話・休憩スペース、まちのオフィス機能、赤ちゃんコーナー）、イベント・セミナー等の開催など

●健康に暮らせるまちづくりの推進

医学科による健康に関する講座開催（健康づくり出前講座）、看護学科による健康に関する相談会等の開催、血圧計・よこはまウォーキングポイントリーダーの設置など



UDCN 並木ラボ

※ 平成 25 年度文部科学省「地（知）の拠点整備事業（大学ＣＯＣ事業）」に採択された「環境未来都市構想推進を目的とした地域人材開発・拠点づくり事業」の取組として平成 26 年 3 月に設置されました。大学ＣＯＣ事業とは、文部科学省が平成 25 年度から開始した、自治体と連携して全学的に地域を志向した教育・研究・地域貢献を進める大学を支援する事業。平成 27 年度から、「地（知）の拠点大学による地方創生推進事業」と事業名称が変更。補助期間は 5 年間で、平成 29 年度で補助期間終了予定。

■ 金沢シーサイドタウンでの連携取組

【地域活動】

地域の住民組織「これからの並木を創る会※」や「金沢センターシーサイド名店会」等とともに、公社、UDCN 並木ラボは、金沢シーサイドタウンでの地域活性化の取組に参加してきました。

平成 28 年 4 月、金沢シーサイドタウン内に新たなディスカウントスーパーマーケットの工事と同時に行った公開空地の再整備を完成し、5 月には公社が「金沢シーサイドタウン コミュフェス 2016」を開催。2 日間で約 10,000 人の来場者を迎える大成功を収めるとともに、金沢区、地元組織、地元関連企業と連携・協力体制を構築しました。



金沢シーサイドタウン コミュフェス 2016

※ 連合自治会、金沢地区社会福祉協議会、NPO 法人らしく並木を母体に、関心のある地域住民が立ち上げた団体。広く地域住民に呼び掛けて、魅力的なまちの実現を目指した活動を推進しつつ、住民参加型のイベントや環境保全活動、文化活動などを通じて仲間を増やし、それぞれの活動を相互に有機的に繋げることに取り組んでいます。

【今後の展開】

現在、金沢シーサイドタウンにおける取組として、UDCN 並木ラボで地域活性化を進めている YCU を中心に、公社をはじめ、地域の企業・団体等をメンバーとして、平成 28 年度から「横浜金沢シーサイド エリアマネジメント構想検討会」を立ち上げ、多分野（企業等関連団体）・地区間（地域住民）の連携や、地域ブランディングの向上に資する取組などについて、議論しているところです。今後は、検討内容の具体化について、進めていきます。



ずっと住みたいと思うまち、
いつか住みたいと思われるまちへ。

■ 暮らし再生プロジェクトでの今後の展開

公社が取り組む、まち（団地・マンション）再生のプロジェクト。市内全域で展開するこのプロジェクトに横浜市立大学の教員の研究リソースを活かし、連携取組を進めます。

